

青年期の SNS 依存におけるソーシャルメディア使用ストレスと見捨てられ不安の関連

○河村咲希 (弘前大学大学院)
松田侑子 (弘前大学)

篠原ひとみ # (弘前大学大学院)

キーワード: SNS 依存, ソーシャルメディア使用ストレス, 見捨てられ不安

ネット利用者の増加や技術の進歩に伴い、ネットに関連する様々な問題が指摘されるようになってきた。そのうちの 1 つとして SNS 依存が挙げられる。また、ネット上の新たなコミュニケーション手段の出現は利点ばかりではなく、ストレス (ストレス要因) になると考えられる (小坂, 2007)。ストレスと SNS 依存の関係を捉える上で示唆に富んだモデルとして、Davis (2001) の脆弱性ストレスモデルがある。友納 (2013) は、このモデルから、インターネット利用者を環境におけるストレスによってインターネットに引き込み、その経験が強化され、加えて利用者の不適応の認知が結びつくことによって、インターネット依存症になるのではないかと指摘している。今回の研究では、不適応の認知として、見捨てられ不安の傾向に着目し、SNS 依存がソーシャルメディア使用ストレス、見捨てられ不安の高低により異なるかを検討することを目的とする。仮説は以下のとおりである。

- (1) 見捨てられ不安が高い場合、SNS 上での対人関係を維持しようとするため SNS 依存が高い。
- (2) 見捨てられ不安が高い場合、ストレスが高い群はストレスが低い群より SNS 依存が高い。
- (3) ストレスが高い場合、見捨てられ不安が高い群は見捨てられ不安が低い群よりも SNS 依存が高い。

方 法

調査対象者: 東北地方にある 4 年制大学に在籍する大学生 160 名 (男性 65 名, 女性 95 名, 平均年齢 19.14 歳, SD=0.92) である。

調査項目: ①佐藤他 (2015) のソーシャルメディア使用ストレス尺度: SNS 利用による不快と思

- われる出来事を取り上げ、その頻度を位置づけることによってストレスを測定する。
- ②インターネット中毒度テスト (小田嶋, 1998): SNS 使用の文脈に合うように文言を修正した。
- ③見捨てられ不安尺度 (斎藤他, 2012): 社会構造の変化を重視した青年期における見捨てられ不安について測定する。

結果・考察

仮説を基に二要因分散分析を行った (表)。その結果、(1) の仮説について、どのストレス (高・低) × 見捨てられ不安 (高・低) においても、見捨てられ不安の主効果は有意であったため、(1) の仮説は支持された。そのため、見捨てられ不安は、SNS 依存を増悪させる上でリスクファクターとなりうることが示唆された。

次に、(2) の仮説と、(3) の仮説について、「不快な情報の閲覧」に関しては部分的に仮説が支持、「やりとりのわずらわしさ」に関しては支持された。しかし、「対人トラブル」に関しては、いずれにおいても交互作用が認められず、仮説は支持されなかった。他の因子と比べて「対人トラブル」は、現実世界での特定の人物とのコミュニケーションがもとになって生じるストレスだと考えられる。そのため、「対人トラブル」は、ネット上だけにとどまらず、現実世界の人間関係にも影響を与えやすく、より日常的なストレスに近いのではないかと推測される。また、「不快な情報の閲覧」や「やりとりのわずらわしさ」と比べると、「対人トラブル」は経験している程度も低く、SNS 依存との相関も比較的小さい。従って、他 2 因子とは質的に異なるものとも予想されるため、今後の詳細な検討が必要であろう。

表 ソーシャルメディア使用ストレス (高・低) × 見捨てられ不安 (高・低) の二要因分散分析の結果

		対人トラブル		不快な情報の閲覧		やりとりのわずらわしさ	
		高群	低群	高群	低群	高群	低群
		M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)
F 値	過剰な自己犠牲	高群 51.13(14.00)	41.29(11.66)	49.26(14.08)	38.76(9.48)	49.61(12.78)	35.70(9.34)
		低群 41.27(12.81)	35.15(11.67)	39.94(11.57)	33.49(11.81)	39.80(13.40)	34.67(11.12)
	見捨てられ不安	主効果 12.74**		14.11**		7.34**	
	ストレス	主効果 12.65**		19.06**		22.64**	
		交互作用 0.68 n.s.		1.09 n.s.		4.81*	
		M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)	M(SD)
F 値	注目・承認欲求	高群 52.76(11.88)	43.27(12.97)	50.51(12.66)	39.41(11.64)	51.36(11.82)	37.27(11.49)
		低群 36.71(13.36)	34.51(10.06)	35.97(10.70)	34.30(10.63)	36.46(11.81)	34.16(10.06)
	見捨てられ不安	主効果 33.00**		24.96**		21.73**	
	ストレス	主効果 7.33**		10.53**		17.99**	
		交互作用 2.84 n.s.		5.75*		9.30**	

**p < .01

*p < .05